

令和7年度 第3回 富塚中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年11月20日（木） 15時00分から16時20分まで
- 2 開催場所 富塚中学校 2階会議室
- 3 出席委員 平出 謙介、安間 忠雄、久保田 智彦、池谷 定康、池谷 忠彦、行森 瑞恵、田口 美貴子、山本 由佳
- 4 欠席委員 金原 圭吾
- 5 学 校 松原 通恭（校長）、廣野 幸恵（教頭）、岩岡 正紘（教務主任）、西村 脩平（1年主任）、村松 郁枝（3年主任）、藤原 啓子（CS担当）、岩邊 三幸（CSディレクター）
- 5 教育委員会 牧野 知子（教育総務課）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録制作者 CSディレクター 岩邊 三幸
- 8 議長の選出

行森委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

9 協議事項

（1）グループ討議

テーマ：「TS全校発表会を通して見えた子供たちの成長と、今後の展望」

①TS（富塚スタディ）を通して見えた子供たちの成長

②学校目標と来年度の展望

（2）全体まとめ（来年度の学校運営協議会取組目標について）

10 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）グループ討議

テーマ：「TS全校発表会を通して見えた子供たちの成長と、今後の展望」

議長の指示により、①成長の視点（TSを通して見えた子供たちの成長）、ならびに、②課題・展望の視点（学校目標と来年度の展望）についてグループ討議を行った。各グループのファシリテーターが以下のように発表した。

（◎：ファシリテーター）

【Aグループ：◎岩岡、藤原、平出委員、池谷定康委員、行森委員、山本委員】

①成長の視点

- ・ 「さすがZ世代」と感じるほど、表現力・資料作成・話し方のレベルが高い。
- ・ 質問への回答が的確で、探究内容の理解が深い。
- ・ 生徒自身がタイム計測・司会進行を行うなど主体性が伸びている。

- ・ 発表に活気があり、短時間で要点をまとめて伝えられていた。
- ・ 聞き手を惹きつける工夫（声の出し方、クイズ形式等）が見られた。

②課題・展望の視点

- ・ 自分の意見は持っているが、挙手して自ら発言する積極性に課題がある。
- ・ 取材先へのフィードバック、地域の方との意見交流など、学びを循環させる仕組みが必要。
- ・ 探究を“やりっぱなし”にせず、社会参画につながる「次の一歩」へつなげたい。
- ・ 若い世代の地域参加を増やすため、学校と地域の協働体制の強化が必要。
- ・ 保護者が“良い点を書いて渡す”などのフィードバックの仕組みも検討したい。

【Bグループ：◎教頭、村松、西村、安間委員、久保田委員、池谷忠彦委員、田口委員】

① 成長の視点

- ・ 生徒が一生懸命取り組み、「ずっと聞いていたい」と感じる発表が多かった。
- ・ 聞き手の生徒がメモを取りながら真剣に聞き、学びが深まっていた。
- ・ 自分の体験をわかりやすく言語化して伝える力が育っている。
- ・ 身近な地域課題に主体的に取り組み、状況を深く理解している。
- ・ 昨年度から探究を継続している生徒もあり、学びが深まっている。

② 課題・展望の視点

- ・ 発表を見て「大人自身が子どもの見本になれているか」を考えさせられた。
- ・ 発表の場を学校内だけではなく、地域の大人・初対面の人に広げることで、生徒のコミュニケーション力を伸ばすことになるのでは。
- ・ 学校外での発表機会（地域行事・公共施設等）を設け、学びを社会につなげたい。
- ・ 発表する以上、プレゼンスキルを学ぶ機会や工夫が必要である。

（２）全体まとめ

議長長の指示により、来年度の学校運営協議会の取組目標については、今回のグループ討議の結果を踏まえ、以下の意見を基に検討していくこととした。

- ・ 両グループとも、生徒の発表について肯定的な意見が多く出た。こうした委員からの声を生徒に直接伝え、褒めて伸ばす機会としたい。（池谷委員）
- ・ 学校運営協議会は、生徒のがんばりや成長を地域の皆さんと一緒に感じ、見守っていくための大切な場であり、今後は、地域だけでなく、子どもたち自身にも“地域がどう見ているか”を伝えていきたい。（平出委員）
- ・ 本年度の取組目標「学校・家庭・地域が一体となり、目標・課題を共有し、共に成長できる未来を創る」は継続したい。（平出委員）
- ・ 学校運営協議会の活動内容は、まだ広く認知されていないため、より積極的に周知を図る必要がある。（安間委員）
- ・ コミスクだよりは学校連絡網・地域の回覧板で配布しているが、今後は情報発信のあり方について工夫を重ねていきたい。（教頭）
- ・ 生徒会役員や保護者の学級理事が会議を傍聴することで、学校運営協議会の活動を知ってもらうことも有効ではないか。（安間委員）

- ・ 地域の方と共に取り組み、良い形でフィードバックできる協働体制を築いていきたい。(行森委員)

11 報告

学校支援コーディネーターより、来年1月中旬に実施予定の、3年生を対象とした高校受験の面接練習（コミスク面談）について、地域の協力を依頼する旨の報告があった。

その他連絡事項

- ・ 校長より
別途資料に基づき、浜松市「休日の部活動の地域展開」に関するガイドラインについて、現時点での状況と本校における今後の見通しの説明があった。
- ・ 次回協議内容について
次回会議では、本日の協議結果を踏まえた学校運営協議会自己評価表についての確認を行う。また、来年度の学校運営方針および学校評価アンケート結果を踏まえた今後の学校運営について協議する。
- ・ 次回会議
次回会議は令和8年2月18日（水）14：30より、2階会議室で開催する。